

令和6年度 第1回神栖市健康づくり推進協議会 議事録

期日 令和6年8月19日(月)

場所 保健・福祉会館 別館2階
健康相談室

時間 午後2時30分～3時40分

- 議題 議題(1) 第3次健康かみす21プランについて
議題(2) 健康づくり事業について
議題(3) その他

○出席委員

神栖医師会	人見 憲一
神栖市歯科医師会	大槻 厚
なめがたしおさい農業協同組合	小澤 隆臣
神栖市スポーツ推進委員協議会	齋藤 幸治
神栖市食生活改善推進員連絡協議会	森本 サヨ子(副会長)
神栖市国民健康保険運営協議会	野口 修一(会長)
潮来保健所	飯島 美千代
公募委員	安藤 美智子
公募委員	川口 直子
市職員 教育部長	新井 崇人
産業経済部長	比嘉 年美
健康増進部長	海老原 洋之

○説明等のために出席した者

健康増進課長	野口 和美
課長補佐	石毛 美紀
課長補佐	羽生 美穂
課 員	高橋 純子、荒木 美佳、横田 里江

○傍聴者 なし

1 開会 <午後2時30分>

(司会進行 事務局)

健康づくり推進協議会委員として13名の委員に委嘱したことを報告する。

委員13名中12名が出席していることを受け、本会議が成立していることをあわせて報告する。

2 委員及び事務局自己紹介

3 議題について協議

本日の議題

議題(1) 第3次健康かみす21プランについて

議題(2) 健康づくり事業について

議題(3) その他

●議題(1) 第3次健康かみす21プランについて

【意見①】A委員

最近、妊産婦の自殺が注目されていて、2022年から警察庁で妊産婦の自殺の統計をとっているそうです。自殺される方は年間3万人で、交通事故の6倍ぐらいあると新聞に書いてありました。疾病ではないけれど、全国的に増加しているため、健康プランに記載すれば、驚いて見る方もいるのではないかと思います。

【回答】事務局

30代・50代・60代の男性の自殺が多いというデータは出ております。妊産婦の自殺の統計については、後程お伝えさせていただきます。

自殺予防対策として、計画期間を令和2年から令和6年とした「いのちを支える計画」を策定し、総合的に推進しています。

健康増進課では、妊産婦の自殺対策として「赤ちゃん訪問」を、産後2ヶ月の産婦に対して実施しておりますが、その際に、産後うつ質問票等をご記入いただき、数字が高い方には、医療機関の受診や相談等につなげております。このような事例は増えており、状況に応じて、他課(こども家庭課等)と連携して対応しております。

【補足】妊産婦の自殺統計

(出典：いのちを支える自殺対策推進センター、警察庁)

対象は、妊娠中あるいは産後1年以内の妊産婦です。

全国値のみを集計しています。

妊産婦自殺者数は、２０２２年６５人、２０２３年５３人です。２年間合計の１１８人の内訳は、妊娠中３３人（２８％）産後２ヶ月以内１９人（１６％）産後３ヶ月～１年６６人（５６％）です。妊産婦自殺死亡率は１０万出生中７．７です。

なお自殺死亡率は、人口１０万人中２０２２年１７．５、２０２３年１７．６です。また、交通事故死亡率は、人口１０万人中２０２２年２．０８、２０２３年２．１４です。

【意見②】Ｂ委員

歯の健康が、歯周病に伴う健康への影響など全身疾患等と結びついていることが認知されてきていると思いますので、より一層発信していきたいです。

【意見③】Ｃ委員

この地域は、食塩の摂取量の減少と喫煙対策が急務と考えています。受動喫煙対策については、令和２年４月から健康増進法が改正され、飲食店は全面禁煙になっています。分室を作れない場合の特例措置もありますが、神栖市は受動喫煙対策を行っていない飲食店が多数あり、利用者等より通報が保健所にあります。市と協力して受動喫煙対策を進めていきたいです。

【意見④】Ｄ委員

委員となったことで、運動・栄養に気をつけて、健康で生きたいという気持ちがわきました。

●議題（２）健康づくり事業について

【意見⑤】Ｅ委員

農協では地産地消の推進、国消国産の推進について PR を行っているが、さらに協力していきたいです。

【意見⑥】Ｆ委員

高齢者がよく運動されている。就労されている年代が、運動機会が少なく、運動不足を感じる人が多い。これを課題として、もう少し力をいれていけばと思います。

【回答】事務局

健康増進課では、６４歳以下の市民にフレイル予防教室を実施し、自宅で実践

できる運動実践の支援をしています。また、健康相談や特定保健指導にて、保健師・管理栄養士が、対象者と話し合い、対象が取り入れやすい運動方法の情報提供や支援をしています。

【議長意見】

教育部長から、昨年新設された「はさきマリンプール」について、活用状況の概要を説明いただきたい。

【回答】教育部長

「はさきマリンプール」は、学校の水泳授業のために造った施設です。令和5年度は、はさき地区の7つの小中学校に対して、6月1日から11月・12月ごろまで水泳授業を開催し、それ以外の空き時間を一般の方が利用していました。

令和5年度の利用者の目標値を28,000人と想定し、実績が41,891人でしたので、利用者率は149.6%と上々でした。令和6年度は、水泳授業が大変好評のため、実施校が1校増えています。その分の割り当てがあり、一般の方の利用が若干減ることになります。そのため、利用者の目標値を36,000人とし積算しています。

具体的なプールの利用率ですが、令和5年度の市内の活用状況につきまして、利用者が15,767人で、大人が5,144人で32.62%、高齢者が6972人で44.21%となっております。プールという施設がない地域でしたので、運動ができる施設と具体的に周知することで、利用者のさらなる増加が期待されます。

【議長意見】

非常に有効活用されていて、安心いたしました。

皆さんのご意見ご感想を踏まえて、第3次計画の見直しに活かしていただきたいと思います。

●議題(3) その他

なし。

4 閉会 〈午後3時40分〉